

事業所における自己評価総括表

| | |
|---------------|---------------------------|
| 事業所名 | LITALICOジュニア池袋西口教室 児童発達支援 |
| 事業者向け自己評価表作成日 | 2026年3月6日（金） |
| 自己評価総括の担当者 | 市川公康、宇野真世、遠藤実佳 |

| | 実施期間 | 有効回答数(回答者数) | 有効回答数(対象者数) |
|-------|--------------------------------|-------------|-------------|
| 保護者評価 | 2025年12月19日(金) - 2026年1月29日(木) | 45 | 48 |
| 従業員評価 | 2025年12月19日(金) - 2026年1月29日(木) | 7 | 17 |

各評価を受けて事業所内で分析した強みと弱み

| 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること |
|--|---|
| <p>支援の内容や利用者負担金額等について丁寧な説明を行っている。 「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明を実施している。 活動プログラムが固定化しないよう工夫している。 個別支援計画に沿った支援が行われている。 定期的に活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をお子さまや保護者さまに対して発信している。</p> | <p>子どもの活動スペース・面談場所などの十分な確保。 保育所等や放課後児童クラブ、児童館との交流や、地域のお子さまと活動する機会が現状ない。 ペアレントトレーニングや座談会の実施。</p> |

過去の取り組みや課題の振り返り

| 工夫していることや意識的に行っている取組等 | 事業所として考えている課題の要因等 |
|--|--|
| <p>契約や個別支援計画の提示の際、加算表やアセスメントシート等の資料を提示しながら説明を行っている。 集団やお子様を持っている特性にあわせて、プログラム内容を都度更新している。 季節に合わせた装飾や、お子様の成果物の展示も行っている。 月に1回、特別プログラムを実施し、SNSアプリや掲示等でお知らせをしている。利用追加のお知らせも、SNSアプリや掲示物で発信している。</p> | <p>事業所の設計上、教室の広さに反して2事業所があり、広くスペースをとることが困難なため。 教室がある地域の特性上、お子様の安全を考慮すると、交流の機会を設けることがむずかしいため。 人の入れ替えがあり、支援提供の育成に注力したため、座談会やペアレントトレーニングの企画ができなかった。</p> |

さらなる充実と改善への取り組み

| さらに充実を図るための取組等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|--|--|
| <p>体験時から詳しい情報の説明を行う。 親御様の質問に迅速にお答えする。 プログラムのバリエーションを増やしていく。 お子さまや保護者様のニーズや意見もお伺いしながら特別プログラムを設定・発信していく。</p> | <p>スペースに合わせたプログラム設定や、クラスの設定を行う。 地域の連携を行うことは現時点では難しいが、関係機関連携等の連携はご要望に応じて引き続き行っていく。 座談会やペアレントトレーニングができる人材の確保・育成。</p> |